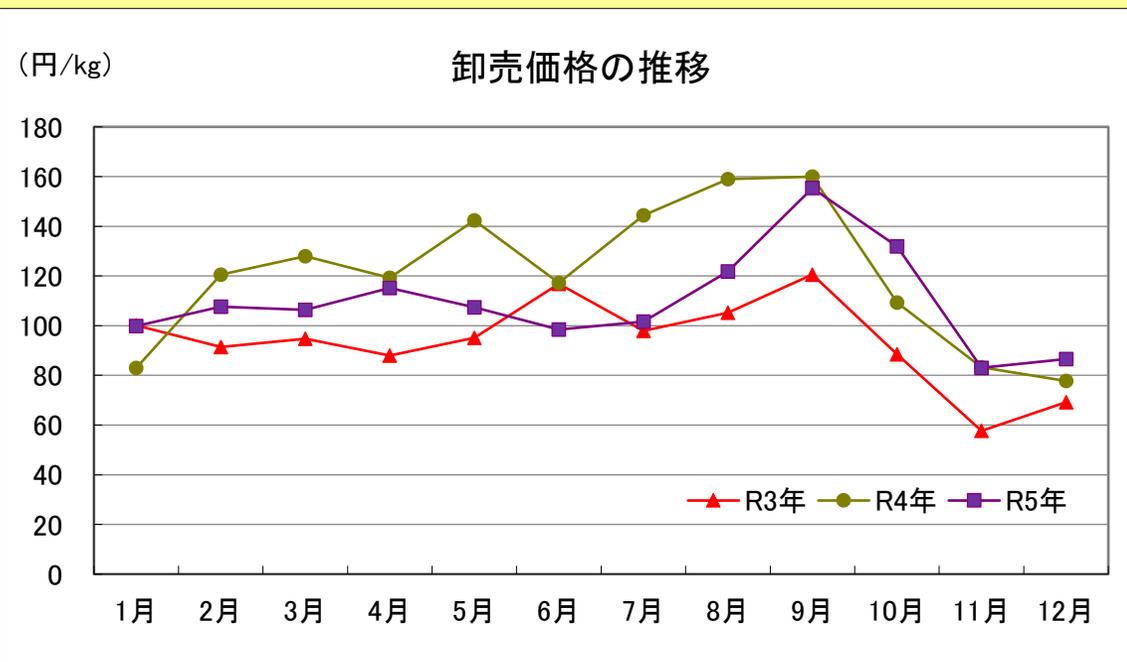
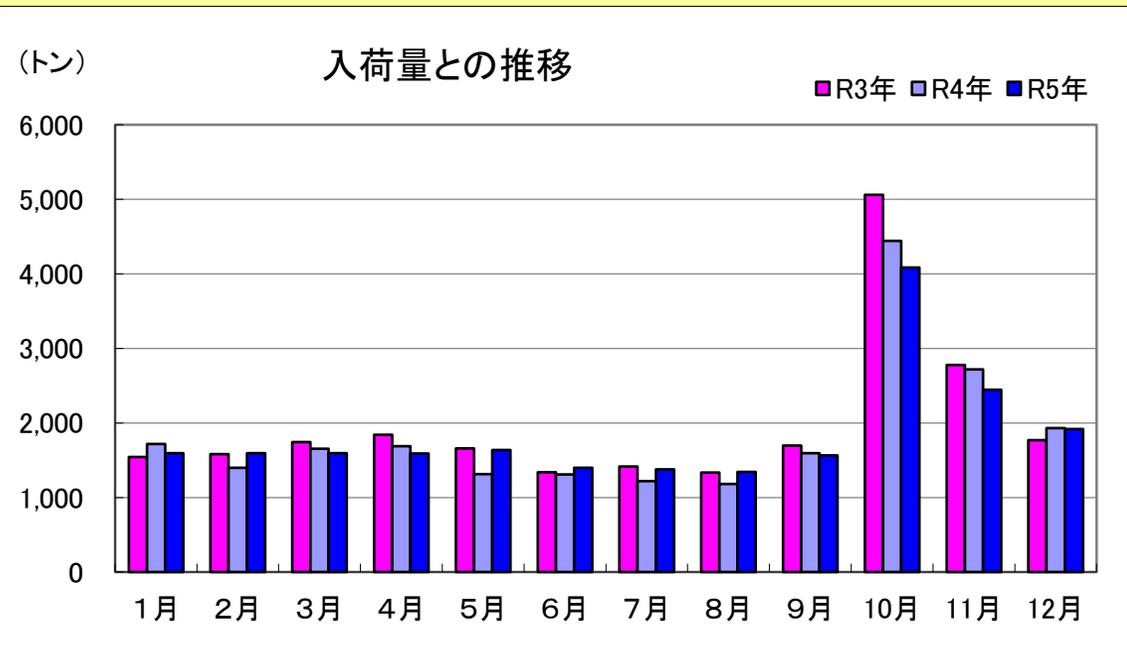


だいこんの動向

○年により差があるものの、10月の入荷量が多く、その8割弱が北陸産となっている。

○卸売価格は、11月から12月にかけて安値となる傾向が見られる。

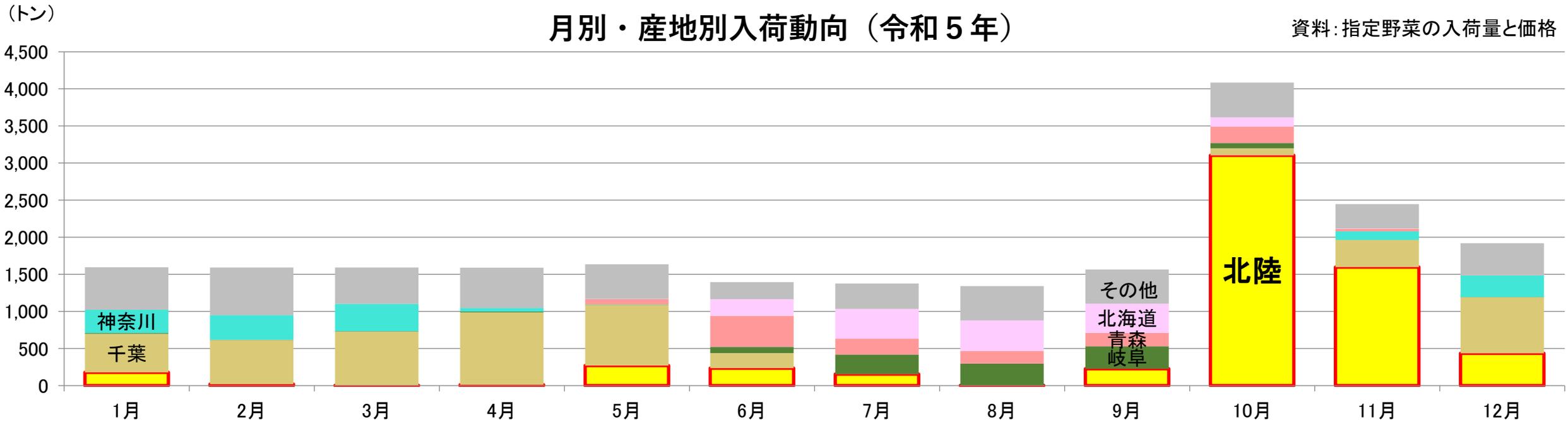


全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
415千トン	8.7千トン	26%	74%

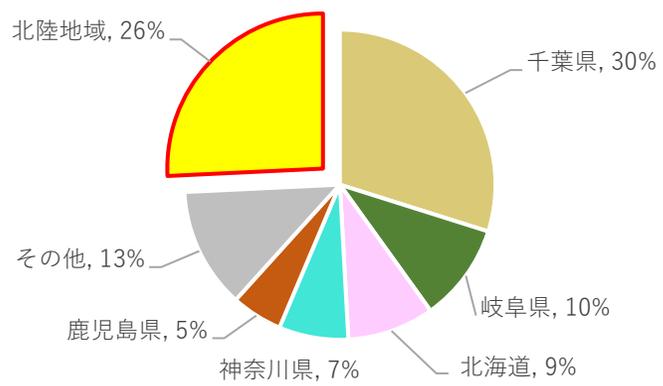
資料: 指定野菜の入荷量と価格(北陸農政局管内17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)

○入荷量は、千葉産が3割、岐阜産、北海道産が約1割を占め、北陸地域からの供給比率は26%となっている。

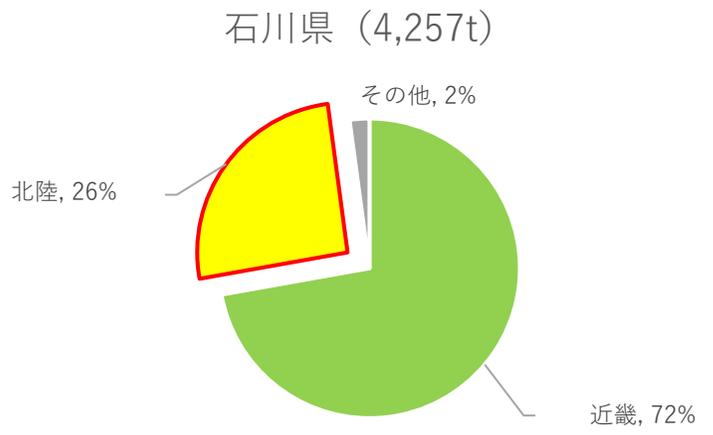
○石川産は、約7割が近畿地域へ出荷され、新潟産は北陸地域に約5割、東海地域に約3割が出荷されている。



産地別取扱割合



(参考) 主要消費地域への出荷量



資料: 令和5年青果物卸売市場調査報告

